

THE Y'S MEN'S CLUB OF KUMAMOTO

2015

11

No.139

ひがし

キャラクター 2004.4.25

TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT

第1例会 第1月曜 熊本デルサ(19:00~21:30)

第2例会 第3土曜 ながみねYMCA(17:00~19:00)

C/O KUMAMOTO YMCA NAGAMINE FAMILY
3-1-107 NAGAMINE MINAMI KUMAMOTO 861-8039
TEL 096-385-0676 FAX 096-385-0649

- 国際会長 主題 : 信念のあるミッション スローガン: 恵みを数えよう Wichian Boonmapajorn (タイ)
 アジア会長 主題 : 愛をもって奉仕をしよう スローガン: まず自分から始めよう Edward K. W. Ong (シンガポール)
 西日本区理事 主題 : 「あなたならできる! きっとできる」- 生きる しなやかに さわやかに- 遠藤 通寛 (大阪泉北)
 九州部部长 主題 : 「九州から輝くワイズダム」 五嶋 義行 (阿蘇)

熊本ひがしクラブ

第12代会長 田上 裕章

会長主題: **絆** 地域との絆 会員間の絆

地域の繋がりを



10月例会
明石教授を迎えて

11月 強調月間	Public Relations (広報)	<p>「今日」という日のうちに、日々励まし合いなさい。 ヘプライ人への手紙3・13</p> <p>鹿兒島クラブの例会で、チアダンスチーム「ウィザーズ」の活動の話をお聞きしました。チア・cheerには応援する、励ますなどの意味があるそうです。</p> <p>この聖書のことばの前には、「罪に惑わされてかたくなにならないように」励まし合いなさい。と書いてあります。</p> <p>今日一日だけを省みても、励ますにはエネルギーが必要だと痛感しました。力づけ励まし合うどころか、次々に起きる事柄に気持ちを乱して不安定になるばかり。反省。</p> <p>人と人との関わりに一方通行はないと思っています。励まされた者が力を得られたなら、そのエネルギーは戻ったり巡っていく。だから励まし合う。自分のなかに、さりげないチアスピリットが養われることを願って、今日は一歩前へ。 (平山美保)</p>	今月の聖句
	Wellness		

10月例会 出席記録	在籍会員数 27名	第1例会 14名	第2例会 9名	メイカップ 6名	
	例会出席率 70.3%	出席総数 29名	ネット、コメント 6名	ゲスト・ビジター 7名	

会長通信

続けていきましょう

会長 田上 裕章



ひがしクラブにとって怒涛の9月を終えたと思えば、10月の第一例会、そして阿蘇で行われた九州部会と、まだまだ忙しい日々が続いております。昼夜の気温の差も大きくなっておりませんが、皆さん体調など崩されておられませんでしょうか。

先日少し不快な、納得しがたい出来事に遭遇しまして。その件を岩本副会長に話しましたところ、「(人間) まあそんなもんっすよ」という答えが返ってきました。まあ、たわいもないやり取りなんですけど、ああこのスタンスだなあと、なぜかそのとき思ったんですよ。

相手の人柄ですとか、起きた事柄ですとか。そういうことをぐちぐち言わずに「まあ、そんなもんか」とひとまず納得してみる。怒りをわきに置いてみる。すると、気分的に結構楽になるものなんですね。まあこっちにもなにか問題があったかもしれない。などと自省することもできますし。

結局そこから人生ってのは続いていくもので。怒っていてもしょうがないし、世の中の人みんなに好かれるわけでもない。そんなもんだと割り切って、自分が正しいと思うことを感わされずにコツコツ続けていくのが大事なのかな。と思います。

まあ、間違いなく岩本副会長はそんなことまで考えてなかったとは思いますが。

10月第一例会で卓話をお願いした熊本県立大学の明石教授をお送りする車中、明石教授は「月に1回、あるいは2回の集いを必ず持つコミュニティはなかなかない。YMCAにもワイズにも、そういう意味で大いに地域防災のコアになる実力がある。今の試みを、ずっと続けていってほしい」と強調されていました。

肩ひじ張らずに、無理なく続けていきましょう。



九州部部会 バナーセレモニー

第一例会

「地域力」を考える 共に育つ

10月の第一例会にて熊本県立大学の明石先生から「大規模災害に備える地域の力」というテーマで卓話をしていただきました。災害はいつやってくるか分からない。私たちは常に災害の脅威にさらされていることを認識し、事前準備をしておくことの重要性をお話いただきました。

行政の力には限界があり、自分の命を守るのは自分であるという認識を持つことが大切である。避難経路の確認や備蓄についても3日間の食料は必要であること、医薬品や工具類も必要な物のひとつである。また、日頃から防災に関心を持ち、地域における協力関係(コミュニケーションを常日頃から大切にしていくこと)が重要であるとの説明がありました。インターネットには本当に重要な情報はあまり無く、社会福祉協議会等の方々との関係を深めフェイスツウフェイスで情報収集を行い、最後は電話を掛ければ協力していただける方々がどれだけ居るかが重要だと話しを締めくくられました。(副会長 岩本芳久)



熊本県立大学・明石教授



地域奉仕・環境事業主任 川上ワイズ



ピジター 竹本雄一氏(右)

考 動

地域に在るYMCA



WE ARE FAMILY

YMCAは、119の国にあり、5,800万人の会員、73万人のボランティアが関わる世界最大級の青少年育成団体です。1844年ロンドンで生まれ170年以上の歴史があり、今日もそれぞれの国で、地域で、必要とされる働きをしています。その活動は、教育やスポーツ、福祉、文化に関するものから、災害や難民支援、平和活動、環境問題への取り組みなど幅広いものです。私たちはその一員であるということに誇りを感じます。

YMCAの始まりは、産業革命中の劣悪な生活環境の中で、若い人や青少年たちの人格の成長と生活の改善を願う12人の若者の「志の結集」でした。

創立当時から170年経った今の私たちの時代はどうでしょう。

ものは豊かになり、経済、産業、情報、ものなど広がるだけ広がり、少なくとも日本にいと不自由しない生活ができます。しかし、私たちはみんながしあわせと本当に言えるのか考えさせられます。今私たちの身の回りはどんな社会になっているのでしょうか。YMCAは、そうした社会の要請や地域の課題に目を向けていくことを大事にする団体であり、私たち一人ひとりにそうした気づきを与えてくれます。皆さんももしかしたら、YMCAを通して目を開かされた経験はないでしょうか。

「ながみねファミリーYMCA」は、水泳やサッカーなどの日常的なプログラムには、2,000人近い参加者がそれぞれの活動を通して、心と身体の成長の機会を持っています。保護者や家族を入れると、6,000人とか8,000人くらいの人にYMCAが伝わっているのではないのでしょうか。

先日のがみね祭では、地域の方を中心に2,500名の方々に楽しんでいただきました。28回を迎えた祭であり、長嶺地区にYMCAができて28年ということになります。ある意味祭を通して、地域のコミュニティづくり、地域とYMCAのつながりをさらに強める機会となったと思います。こうした運動体としての活動は近年広がりを持っており、「みんな泳げる25m運動」や「防災プログラム」などの地域活動の活性化、「東ティモール支援」の国際協力、「よろず生活相談会」や益城町での活動展開など取り組んでいます。

そして、それを支える同じ志を持つ「ひがしワイズメンズクラブ」と若い力が活躍する「リーダー会」は、YMCAにとって大きな力となっています。ユースとシニアの協働、地域とYMCAの協働、YMCAが目指す人のつながりを強める働きは、多くの人々に「隣人」を思う「生き方」を教えてください。

「WE ARE FAMILY」地域に根差し、地域と共に課題に取り組むYMCAとして、創立当時の「志」を受け継いでいきたいと思ひます。
(ながみねファミリーYMCA館長 中村賢次郎)



ながみね祭



2012年リニューアル

My Story わたしの物語

File. 4



青春再来

むらかみ すみお
村上 澄夫 Y's

来年の4月には60歳、還暦を迎えることとなります。そろそろ定年後のことや老後のことが頭をよぎりますが、今のところ、気持ちは永遠に青年のままで過ごせるような錯覚を覚えます。

学生時代に山岳部に所属し、登山を通じて技術はもちろんのこと、チームワークや判断力、忍耐力など、今に通じる事をたくさん学びました。

近郊の山には、仕事の傍らぼつぼつと登っていましたので、還暦前に漠然と思うことは、これからは、仕事だけではなく、山登りも趣味にしたいということです。

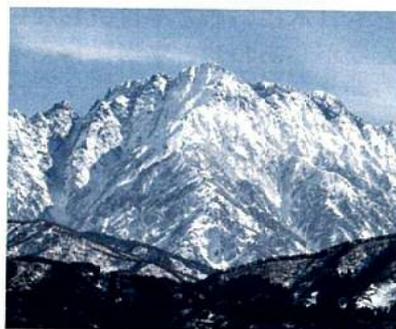
若いころに、日本百名山、九州百名山を半分程度踏破しました。人生を閉じるまでには、百名山を制覇したいと思っています。今のうちに、体力、精神力、軍資金を蓄えていかなければ…。

最後に、私の憧れの山は、映画「剣岳 点の記」で山の主役を演じた剣岳です。岩と雪、厳しい山ですが、四季折々の自然の繊細な美しさ、雄大さ、魂に響く山の神々しさを感じさせてくれます。

* 剣岳（つるぎだけ）は飛騨山脈（北アルプス）北部の立山連峰にあり、標高2,999m。富山県の上市町と立山町にまたがる。日本百名山および新日本百名山に選定されている。

* 映画「剣岳 点の記」（つるぎだけてんのか）は、新田次郎の小説を原作とした日本映画。明治時代末期、陸軍参謀本部陸地測量部（現在の国土地理院）によって実際に飛騨山脈（北アルプス）の立山連峰で行われた山岳測量プロジェクトを扱った。

日本地図を完成させるために、信念と勇気をもって困難な山岳測量に取り組んだ男たちを描いている。



剣岳 早月尾根

次回は、Y. I. Wazumi にお願ひしています

第34回九州部部会 九州から輝くワイズダム

10月17日（土）午後1時から第34回九州部会が開催されました。第一部式典は阿蘇プラザホテルにおいてパナーセレモニーからスタートしました。ワイズソングの後、阿蘇クラブのチャプレン・高木義萌牧師による祈祷、来賓祝辞、来賓紹介、各事業主任挨拶、熊本YMCAへの支援金贈呈等が行われ、第一部は無事終了しました。

第二部は、「草原再生館」において、尾ヶ石保育園児による虎舞のオープニングで、子ども達のかわいい演技に和やかな雰囲気の中でスタートしました。記念講演は、草原再生館で、阿蘇グリーンストックの木部直美氏による「阿蘇の草原を未来に」の題で、どうしなければならぬかの学びの時を持ちました。詳しい話は省略しますが、要は赤牛を食べて、草原の再生に協力していくとの事でした。

その後は、ホテルに戻り懇親会が始まりました。オープニングは、赤水保育園児による赤水太鼓が披露されて、とても素晴らしい演技に感動しました。100人を超える保護者の方々と共に演奏を楽しみました。たくさんのお酒が出されてとても楽しく懇談出来ました。

直前九州部長の亀浦ワイズのエルマークロー授賞式もあり、有意義な部会であったと思います。今回のひがしクラブからの参加者は、田上会長、宮崎次期九州部長、菅メン・メネット、大澤メネット、横田メネット、平山メン、加藤メン・メネットの9名でした。（加藤 國博）





メネットコーナー

九州部メネットアワー

10月17日(土) 阿蘇プラザホテルにおいてメネットアワーが開催されました。西日本区遠藤通寛理事、遠藤典子メネット事業主任をはじめとして総勢30数名の参加がありました。

ひがしクラブからは、4名のメネット(大澤・菅・横田・加藤)と平山メンが参加しました。大澤九州部メネット主査から歓迎の言葉、遠藤メネット事業主任から今期の事業方針・計画の説明がありました。卓話は、「東日本大震災をわすれないうで!」と題して、遠藤理事の感じた被災地のお話をいただきました。男性は、仕事がなく酒に逃げ場を求めるが、女性は集会場に集まって手芸をしたり、おしゃべりをしながらも、次に何をしようと考えて行動をしている。女性の力強さを感じるとおっしゃっていました。現在仮設住宅の皆さんが必要とされているものは、①自治会の親睦のための資金がなくなりつつある ②日用品は、現在もありがたい ③だんだん訪れる方が少なくなりました。忘れないでほしい。という事だそうです。

その後、各クラブより活動報告等がありそれぞれのクラブでのメネットの様子がうかがえました。遠くにいて直接伺う事はなかなかできませんが、この機会に復興に少しでも協力できればとひがしクラブでは、西日本区のわかめ販売とは別に、9月の熊本地区交流メネット例会で卓話をお願いした立野泰博氏(熊本ジェーンズクラブ)に紹介していただいた海産物も販売しました。皆様の御協力で完売でした。ありがとうございました。

また、今回のメネットアワーには阿蘇クラブの藤本猪智郎ワイズの紀子メネットと松村由紀子メネットのお二人が初めて参加されました。九州部会が阿蘇であるという事で、事前に数回ひがしクラブと阿蘇クラブとの交流会を持ち、当日のプログラム・司会やお菓子の手配等両クラブで分担して行い事が出来ました。とてもうれしく思いました。(メネット 加藤喜美代)



司会を務めた横田メネット(左) 阿蘇クラブ(右) 松村メネット



鹿児島クラブメネット例会

10月27日(火)、鹿児島クラブがひと月遅れのメネット例会を開催するというので、大澤メネットと参加しました。

卓話はチアリーダーの新内容子さん。連絡主事・新内ワイズのメネットです。鹿児島YMCAチアダンス「ウィザーズ」は2009年に発足。当初は3人だけのクラスが、現在は在籍200名を越え、好評を博しています。「チア cheer」は「応援する、励ます」などの意。ダンスを好きになる、何かを好きになる、その気持ちを持つことが大切で、チアスピリットを育てておられます。カづけられました。(平山)



メネット & 女性メン集合

「YMCA・ワイズの源流」の学び！ ②8

阪田 素夫 (さかた もとお)

1888 (明治21) 年12月13日～1961 (昭和36年) 9月21日
 信徒伝道者、実業家。

広島県豊田郡に生まれる。一家は1896 (明治29年)、日清戦争の景気により大阪移住。1894 (明治27)、広島英和女学校 (広島女学院) 付属幼稚園の保母・甲賀フジの感化を受け、1904年5月、大阪教会牧師・宮川経輝の導きにより入信。このことを知った父に日本刀を振りかざされて改心を迫られたが、初志を貫いた。

北野中学に学び、その当時ハイYの前身である中学YMCAを創立。

1907年、東京高等工業学校応用化学科に入学。卒業と同時に、家業の新聞インク製造業を継ぎ、株式会社阪田商会をはじめ、関連会社の社長や重役を歴任した。

若い頃から音楽に親しみ、特に教会音楽の育成に情熱を注ぐ。青年、壮年期を通して半世紀以上にわたる大阪YMCA会員として奉仕。実業界だけでなく、大阪クリスチャンセンター理事長など宗教界や教育界のほか、各種の文化事業の要職を担う。

1924 (大正13) 年、大阪教会創立50周年記念事業として設立した南大阪の支教会の中核となって発展に寄与。1926年には自給自足の南大阪教会とし、25年間にわたり、南大阪幼稚園初代園長を務めた。1940年11月に大阪YMCA理事に選任され、1952年9月、理事長に就任し、YMCAの発展に貢献した。特に1955年のパリ世界YMCA大会には日本代表として出席し、重責を全うした。

1957年の大阪YMCA創立75周年記念事業である、第一ユースセンター建設にあたっては、理事長として率先して募金活動に尽力した。1955年から日本YMCA同盟委員長、同盟郡市部委員長としての重責も担った。

1959 (昭和24) 年には奈良に大和教会を創立した。また国際交流にも関心を寄せ、後藤安太郎らと日本DIA教会の結成など、産業能率の向上にも尽力。生涯、奉仕の生活に徹した。芥川受賞作家・阪田寛夫 (1925～2005) は次男。



阪田商会は現在のサカタインクスの



第二例会

10月20日 (月) 19:30～21:00 記録・平山
 出席: 田上、岩本、東、横田、中村、池田
 加藤、平山

ネット: 大澤、加藤、岩本、横田、平山俊生

1. 11月第二例会 11/14 (土 17:00 開催) に西日本区川上主任 (地域奉仕・環境) が参加される予定で調整→ 後日、先方のご都合で今回は見合わせとなる
 第二例会の内容を事務例会の他に、学びのプログラムも組み入れた内容を実施していく。
2. 11月第一例会 11/2開催 会員卓話の例会 東菜保子ワイズと片山隆ワイズ 職業を活かした内容でお願いしている。
3. 12月クリスマス例会 12/4 (金) チサンホテル 竹本雄一氏の入会式を行う。SP中村賢次郎ワイズ。
4. 新春例会の件 11月連絡会議で調整する。
5. チャリティダンスパーティ協力の件 クラブから1万円を支出して券を購入 <承認>
6. DBC交流の件 1月23 (土)～24日 (日) の日程を希望する旨、池田DBC委員長から京都めいぶるクラブに連絡する。訪問者はこれから調整。

7. 連絡主事会費減額を考える件

多くの意見が出た。ひがしクラブは今年度は現状の会費でおさめてもらうことに決まる。

8. YMCAから報告・連絡

- ①ながみね祭会計報告 参加者 2500名
 収入 1,561,390円、支出 848,164円
 益金 713,226円 (目標額 70万円)
 東ティモール支援 年末募金 災害支援金 防災および地域子どものための活動費など
- ②東ティモールスタディツアーを計画したい サッカーのコーン、ピンス、ボールを必要としている、日本製が良いので送ることを考える。
- ③年末募金キックオフ集会 10/29 (木)

DBC (国内兄弟クラブ) 交流

ひがしクラブは、京都めいぶるクラブとDBC締結をしています。2008年11月、ひがしクラブ5代・門永会長期に締結式を行い、それから相互に訪問し、交流を続けています。交流はワイズの醍醐味ともいわれ、視野も開かれ、とにかく楽しいものです。





YMCA通信

連絡主事 中村賢次郎

【あとの祭】

ながみね祭をお手伝いくださったボランティアのみなさんと、祭の評価会と懇親会として「あとの祭」を行いました。それぞれのご活躍を労い、目標達成したお祝いとして楽しい時間を過ごしました。

またこの会では、YMCAへの要望や地域の情報なども聞き取り、共に地域に根差す仲間として、祭だけでない貢献をしていくことを確認しました。



【YMCA・YWCA合同祈祷週】

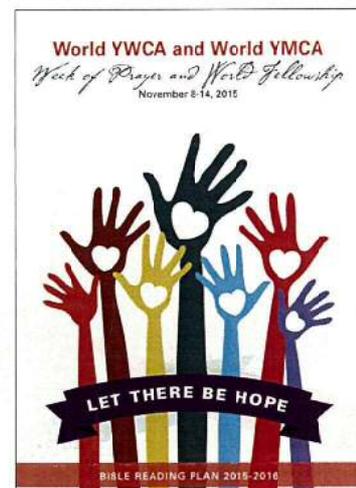
世界のYMCAとYWCAは毎年平和を祈る合同祈祷週を設けております。今年のテーマは、「Let there be Hope ー希望あれー」で、11月8日からの1週間となります。毎日1つずつ与えられた聖書の箇所を読み、共に祈りの時を持ちます。

【国際協力青少年育成年末募金】

11月～1月、国際協力青少年育成年末募金が行われます。

今年の目標は1600万円です。今年は特に募金に協力いただける方の数を増やすことに力を入れます。お知り合いのお店などに募金箱を置いてもらうなどみなさんからもアイデア募集しています。

また街頭募金は、12月6日（日）を予定しています。ご協力よろしくお願ひします。



良く生きる

倫理観が揺らぐ相次ぐ不祥事

歌野 清三

巨人選手の野球賭博、歯科医師連盟の迂回献金事件、横浜のマンション傾斜事件、東芝の不正蹴り処理事件、3度目の東洋ゴム不正改ざん処理等々、倫理観が大きく揺らぐ事件が相次いでいます。

スポーツファンへの背信であり、利益至上主義のまん延か、企業倫理の崩壊か。ドイツのフォルクスワーゲンによるディーゼル車の排ガス規制逃れが明らかになりましたが、東芝の不正会計問題は発覚がかなり前から指摘がありながら、最上層部が内部でもみ消すかたちになっていたといえます。杭打ちもゴムの問題も安全に直結する問題です。あってはならない事態です。

巨人軍、歯科医師連盟、東芝、三井不動産系、東洋ゴムなど名門の相次ぐ不祥事は、企業倫理の崩壊すら印象づけています。利益至上主義の歪みを是正してほしいものです。住宅の購入は人生の一大事であると思います。業界をあげて再発防止、信頼回復に本腰をいれるべきではないでしょうか。

- いざ立て 心あつくし 手を挙げ 誓い新たに
われらのモットー守る ふさわしその名ワイズメン
絶えせず めあて望み この身を捧げつくさん
- 歌えば 心ひとつに とものがき ひろがりゆきて
速きも近きもみな ささげて立つやワイズメン
栄えとほまれ豊か まことは胸にあふれん

11月例会

11月2日(月) 19:00~21:30

熊本テルサ 司会 白木 尚登
開会宣言・点鐘 田上 裕章
ワイズソング「いざ立て」 全員
目的唱和
会長挨拶 田上 裕章
ゲストビジター紹介
卓話「税について」 東 菜保子
「契約について」 片山 隆
食前感謝
乾杯
食事
Happyバースディ&アニバーサリー
諸報告
なごりはつきねど 全員
閉会宣言・点鐘 会長 田上 裕章

11月以降の予定

- 11月2日(月) ひがしクラブ第一例会
19:00 熊本テルサ
- 11月7日(土) 水前寺幼稚園こどもバザー
8:30~12:00 水前寺幼稚園
- 11月7日(土) ニューオリンズジャズコンサート
18:30 東部YMCA ワンドリンク付2,000円
- 11月11日(水) 熊本連絡会議
19:00 中央YMCA
- 11月14日(土) ひがしクラブ第二例会
17:00 ながみねFYMCA
- 11月15日(日) 東部祭
8:30集合 11:00オープン 東部駐車場
- 12月3日(木) 市民クリスマス2015
岸義紘チャリティコンサート
牧師・サクソフォン奏者
19:00開演 森都心プラザ 大人1,500円
- 12月4日(金) ひがしクラブクリスマス例会
19:00 ネストホテル(旧チサン)
入会式を予定
- 12月19日(土) ひがしクラブ第二例会
17:00 ながみねFYMCA

Happyバースディ&アニバーサリー

11月バースディ

- 1日 大澤 博文 9日 白木実希子(㊗)
- 11日 門永真由美(㊗) 23日 岩本 克恵(㊗)

11月アニバーサリー

- 22日 田上裕章&かな子
- 23日 門永充弘&真由美

10月17日 九州部会バナーセレモニー

